

6月の園だより

2019年5月24日発行
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園



新園舎を与えられて感謝

園長 加藤 明宏

足かけ3年におよぶ園舎の新築工事もいよいよ大詰めを迎えました。新園舎の前に現れたのは、新しい砂場や遊具、リニューアルされた機関車でした。広い園庭を存分に走り回り、三輪車を駆使して動き回る子どもたちの姿を教職員一同、喜びと感謝の気持ちで見つめています。工事中は狭い園庭と仮設園舎などで、子どもたちには不自由さを感じさせて、申し訳なく思っています。それでも子どもたちは、私の想像をはるかに超えたところで工夫して上手に遊び、幼稚園生活を過ごしてくれました。また保護者の皆様にもご不便をおかけしました。ご理解とご協力をいただきましたことを、改めて感謝いたします。新しい園舎と園庭、そして外回りの恵まれた環境を与えられ、これまで以上に子どもたちが、活発で喜びに満ちた安全な園生活を送ってくれることを願っています。

先日ある子どもが、宝物のように大切に持っているヨーグルトのカップを誇らしげに私に見せてくれました。中にはダンゴ虫が数えきれないくらい、モゾモゾとうごめいていました。多分30匹以上はいたのではないのでしょうか。「どこで見つけたの?」と聞くと、強めの口調で「ないしょ!」と言われてしまいました。きっと幼稚園のどこかで一生懸命つかまえたダンゴ虫の居場所を誰にも教えなかったからでしょう。そのままお家に持って帰りたいと思う子どもの姿があって、帰りの車の中でカップがひっくり返らなければいいなと心配したものでした。

新年度が始まってもう2か月がたちました。新しい環境に子どもたちも保護者も慣れ、安心して過ごせるようになってきました。しかし中には、新しい環境にまだ不安を抱えた子どもたちや保護者の方もいらっしゃることも事実です。それぞれの気持ちをありのまま受け止め、「さみしいね、お母さんが大好きなんだね」「泣きたい時は、泣いていいんだよ。一緒にいるからね。」「どうぞ安心して、子どもの背中を押してください。」と声をかけ続けたいと思います。6月の主題は、乳児は「動きだす」 幼児は「関わり合う」です。先ほどのダンゴ虫ではありませんが、子どもたちは季節のすがすがしさを感じながら、まさに動きだしました。そして新しい環境の中で、子どもたち同士、先生や職員と関わり合うことを楽しんでいます。6月は雨の日も晴れの日もありますが、これも天地を創られた神さまが与えてくださる恵みです。子どもたちの自発的な動きと人と自然への関わり合いに、心躍らせて過ごしたいと思います。



2019年度の年主題：ことばに満たされて～ひびきあう～

6月の主題	月のねがい
関わり合う	<ul style="list-style-type: none"> ・神さまが創られた世界を知る ・砂・泥・水に触れて遊ぶ中で心地よさを味わう ・自分でしたいことが増え、楽しさを感じるとともに葛藤も味わう ・絵本やお話を通して、豊かなことばに出会う
聖句	息あるものはこぞって 主を賛美せよ。ハレルヤ (詩編 150 編 6 節)

6月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 交通安全教室	4 T年長	5 T年中・年少 尿検査①	6	7	8 新園舎落成式 14:00~
9	10	11 T年長 ふれあいデー	12 T年中・年少	13 身体測定 (幼児)	14 ふれあいデー (乳児) 尿検査②	15
16	17	18 シルエット劇場	19 T年中 ふれあいデー	20 プール開き	21	22 中部保育会研修 〈長野〉
			高橋中学校職業体験			
23	24	25 T年長 尿検査③ 授業料引落し	26 T年少 ふれあいデー	27	28 誕生会 避難訓練	29 豊田市私立幼稚園 教育推進大会 (研修)
30						

